



# 地域の方とともに歩む 品川コミュニティ・スクール

学校・家庭・地域の強力な連携によって継続的な学校運営や教育活動を行う品川コミュニティ・スクールの取り組みがスタートしています

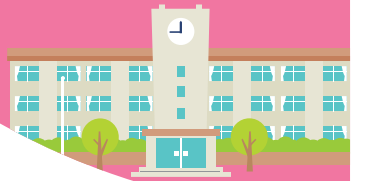
平成30年度までに  
全区立学校で実施

## 品川コミュニティ・スクールって？

学校と保護者、地域が連携して、子どもたちを育てていく仕組みです。

子どもを取り巻く環境は複雑化し、学校に求められる課題も多様化しています。学校と保護者、地域が総がかりでその課題を解決する仕組みが「品川コミュニティ・スクール」です。

28年度より15校で始まり、本年度は16校が指定されました。来年度には、区立学校全46校で実施となります。



## 2つの組織があります

一つは「校区教育協働委員会」、もう一つは「学校支援地域本部」です。

### 地域の方が学校運営に参画する 校区教育協働委員会

学識経験者、学校管理職、保護者、卒業生や地域の方が、学校の教育活動をより良いものにするために、学校運営について教員と共に考えていきます。地域の方が委員会に参加することで、教員の異動にかかわらず、地域や学校の特色を生かした教育活動を継続的に行っていくことができます。

### 地域の方が学校の活動を支援する 学校支援地域本部

保護者や地域の方がメンバーとなり、様々な学校の教育活動を支援しています。参加を希望する方は、事前に「学校支援ボランティア」に登録し、自分にできる活動に参加します。



### 地域と学校を結ぶ 学校地域 コーディネーター

学校が必要としている支援にマッチする「学校支援ボランティア」を派遣したり、支援活動を学校や地域に知らせたりするなどの情報提供活動を行います。



- 支援の例
- 高等学校 高等専門学校 大学
  - 商店街
  - 公共機関
  - 町会 自治会
  - 地域
  - 保護者
  - 地域住民
  - グループ サークル
  - 企業 NPO



# 品川英語力向上推進プラン

18年度より区独自に1～6年生の「英語科」を開設し、義務教育9年間の一貫した英語教育を展開しています。

## 1年生からの英語教育 区独自カリキュラムとJTE

1～6年生のカリキュラムでは、「桃太郎」「赤ずきん」といった慣れ親しんだ物語を英語で何度も発音したり、演じたりすることで、児童が言葉の意味を物語の文脈から推測し、自然に理解できるように指導法を取り入れています。

3～6年生では、JTE（日本人の英語専科指導員）と学級担任が協力して授業を行い、聞いた単語をアルファベットで書くなど英語特有の音を認識する力を育てています。



## グローバル人材育成塾 7年生からの放課後レッスン

英語によるコミュニケーション力を高め、異文化についての理解を深めるために、英語に対する興味・関心が高い生徒を対象として「グローバル人材育成塾」を開講しています。

育成塾では、区立中・義務教育学校4校を会場に、1人のALT（ネイティブの外国人講師）につき10人程度の少人数レッスンを年間25回実施しています。

毎年8月には、受講者の中から希望者を募り、福島県にある「プリティッシュヒルズ」で2泊3日を英語漬けで過ごす「イングリッシュキャンプ」も行っています。



イングリッシュキャンプの様子



グローバル人材育成塾授業風景

## 品川スポーツトライアル レッツトライ! 目指せ 新記録!!

休み時間や放課後、体育の授業など、いつでも、どこでも手軽に運動に取り組み、競争する楽しさを味わえるよう、11の共通種目を設定した「品川スポーツトライアル」を全校で実施し、運動の日常化を図っています。



## テクニカルアドバイザー

体育の専門性の高いアドバイザーと教員と一緒に授業を実施



各校では、テクニカルアドバイザー（中学校または高校保健体育科免許保有）と教員とのチームティーチングにより、指導の充実を図っています。テクニカルアドバイザーが教員とともに直接個別指導をしたり、見本を見せたりすることで、児童・生徒に運動のポイントや動きのコツをつかませ、「運動ができるようになった」と感じさせることがねらいです。

# SHINAGAWA アクティブライフ プロジェクト

体を動かすことの楽しさを味わい、進んで運動し体力を向上させることをねらいに、3つの取り組みを行っています。

## ミニッツエクササイズ 1分間程度の短い時間で簡単にできる運動



児童・生徒の体力を向上させるためには、学校と家庭との連携が重要です。運動習慣の確立をめざし、学校だけでなく、身近な道具をつかって家庭でも簡単にできる運動事例集を作成し配布しています。

簡単な運動を学校や家庭で行うことで、心と体がほぐれ、集中力が高まります。

# 特色ある品川区の教育施策

# 未来へ！世界へ！

## 世界ともだちプロジェクト



アラブ首長国連邦の方と交流（戸越小学校）

### 日本を知る、世界を知る

東京2020大会に向け、各学校・幼稚園では、「学習・交流国」5カ国について調べるとともに、海外からの訪問者や大使館などの方との交流を行うことで、世界の多様性を知り、様々な価値観を尊重する心を子どもたちに養っています。また、改めて日本の良さへ気づき、おもてなしの心を育む機会としています。



バングラデシュからのお客様をお迎え（飯浜小学校）

- 「外国の方と品川音頭を一緒に踊って楽しかった。東京2020大会ではボランティアをしてみたい」
  - 「日本人の勤勉さや美徳が、世界から認められていることが分かってうれしい。自分も頑張りたい」
- 児童・生徒の感想

## 品川区オリンピック・パラリンピック学習教材『ようい、ドン!しながわ』



本教材には、オリンピック・パラリンピックと関連する品川区の歴史や特色などが多数掲載され、東京2020大会がより身近なものとして感じられるようになっています。各学校では、市民科を中心に本教材を活用しています。1～4年生用についても、今年度中に配布する予定です。

### 区市町村初の独自教材の作成

品川区の全ての児童・生徒が、東京2020大会に興味をもち、オリンピック・パラリンピックについての理解を深め、自分たちができることを真剣に考え、積極的に関わろうとする意欲を高めるため、今年度、『ようい、ドン!しながわ』を作成し、5～9年生に配布しました。



# オリンピック・パラリンピック教育

オリンピック・パラリンピック教育では、知・徳・体の調和のとれた幼児・児童・生徒の育成を目指します。おもてなしの心もち他者を大切に人、心身ともに健全な人、日本人としての自覚と誇りもち国際社会で活躍できる人を育てます。

## 「ようい、ドン!スクール」

### 東京2020オリンピック・パラリンピック教育実施校



ラグビー体験（八潮わかば幼稚園）

28年度から、都内全ての公立学校・幼稚園が、東京2020オリンピック・パラリンピック教育実施校（愛称：「ようい、ドン!スクール」）に認証されています。中でも、区内の中延小学校、京陽小学校、鈴ヶ森中学校、豊葉の杜学園、八潮わかば幼稚園の4校・1園は、昨年度の実践が評価され、東京都教育委員会からオリンピック・パラリンピック教育アワード校として表彰されました。また、パラリンピック競技（ブラインドサッカー）応援校には荏原第六中学校が指定され、毎週火曜日の夜間に代表選手が練習会場として使用しています。

「大きな体で優しく丁寧に教えてくれて、見ているだけでは分からないラグビーの魅力が伝わってきました。私たちもぜひ体験してみたいです」

八潮わかば幼稚園 保護者の感想



ブラインドサッカー体験

## 3競技体験教室

### 「ホッケー」「ビーチバレーボール」「ブラインドサッカー」



ホッケー体験

28年度から東京2020大会の区内開催競技「ホッケー」「ビーチバレーボール」、そして本区応援競技の「ブラインドサッカー」の体験教室を全区立学校で実施しています。

児童・生徒は競技体験を通してスポーツに親しむだけでなく、選手と直接交流することでスポーツマンシップやフェアプレイの大切さを学んでいます。

- 「スポーツは、勝つことも大切だけど、助け合うことが一番のどと実感した」
- 「スポーツを通して、たくさんの出会い、触れ合い、思いやりが生まれると感じた」

児童・生徒の感想

## グローバル給食

大使館・領事館の方が日本の給食体験をしたり、学校で他国の料理を給食献立に取り入れられたりするなど、学校と大使館・領事館との交流を図りながら「食」を通して国際理解を深めるきっかけ作りとする「グローバル給食」を27年度より実施しています。28年度は、第四野小学校にザンビア共和国大使館職員を、大原小学校にタイ王国大使館職員を招き、それぞれ国を紹介する授業を行い、その国の料理を給食の献立として提供しました。今年度は、浜川小学校とセルビア共和国大使館、台場小学校とブラジル連邦共和国総領事館との間で実施します。



ザンビア共和国との交流（第四野小学校）



# このような独自の取り組みも行っています

## 学校選択制

### 特色ある教育活動を推進

学校選択制は、通学区域内の児童・生徒を受け入れた後、受け入れ数に余裕がある場合に、他の通学区域の児童・生徒を受け入れるもので、対象者は、新1年生と新7年生です。12年度から実施しています。

小学校は、品川区を4つのブロック（7～12校）に分け、通学区域が属するブロック内で入学を希望する学校を1校選択することができます。ただし、義務教育学校6校はブロックにかかわらず区内全域から選択することができます。

中学校は、区内全域から選択することができます。7年生から義務教育学校後期課程を選択することや、義務教育学校前期課程に通っている児童が7年生進級時に別の中学校を選択することも可能です。

小・中・義務教育学校とも、各学校の受け入れ学級数、受け入れ児童・生徒数の枠を設け、希望者数がこれを超えた場合は通学区域外からの児童・生徒を対象に抽選を行うことがあります。

対象者には、入学前年の9月下旬頃に学校選択制についての書類を送付しています。

問い合わせ 学務課学事係（☎5742-6828 Fax5742-0180）



学校施設を活用し、小学校・義務教育学校1～6年生に放課後などの安全な居場所を提供し、学びと遊びを通して子どもを育むことをねらいとしています。

「フリータイム」では児童が学級や学年を超えた交流の中で、共に遊んだり、学んだり、運動したりと自由に過ごしています。また、学年ごとの「勉強会」、地域ボランティアなどが講師を務める囲碁・将棋・生け花・英語などの「教室」を実施しています。

児童が様々な体験を通し、社会性や人間性を高められるようにするとともに、「教室」や地域への貢献活動を通して、地域の方との交流を深めています。

区内在住であれば国公立・私立学校に通う児童も利用できます。

## すまいるスクール

### ●利用案内

**利用日** 月～土曜日（祝日・年末年始は除く）

**利用時間** 学校がある日＝放課後～午後5時＋延長時間  
学校が休みの日＝午前8時15分～午後5時＋延長時間

※保護者の就労等により、児童が家庭で適切な保護を受けられない場合、事前の申請により、1～3年生は午後7時まで、4年生以上は午後6時まで延長利用ができます。

**利用料** 午後5時まで＝月250円、午後6時まで＝月3,250円、午後7時まで＝月4,250円  
保険料＝年650円

※勉強会の参加費、各種教室の教材費は別途必要です。

※午後5時を超えて延長利用する児童に、間食を提供します。

※午後6時を超えて帰宅する場合は、保護者などのお迎えが必要になります。

問い合わせ 子ども育成課育成支援係（☎5742-6596 Fax5742-6351）



## 校庭の人工芝化

校庭は、児童・生徒の遊びや体力向上のために不可欠な施設の一つです。そのため、児童・生徒が安心して校庭を使用できるよう、十分な安全性と機能性のある整備を進める必要があります。

人工芝の校庭は、土の校庭と比べると、転倒時にかすり傷などのけがが少なく、降雨後の水はけが良く、汚れにくいという特性があります。また、近隣への砂ぼこりの抑制も期待できます。

区では、昨年度までに10校で校庭の人工芝化を行いました。29年度は大井第一小学校、小山小学校で実施しています。

問い合わせ 庶務課施設係（☎5742-6826 Fax5742-6890）



伊藤小学校

児童・生徒の数の増加により教室数の不足が見込まれることや、老朽化した校舎を整備するため、計画的に学校の改築に取り組んでいます。

学校改築予定		
学校名	新校舎完成	全工事完了
芳水小学校	30年12月末	31年度末
城南小学校	31年度末	32年度末
後地小学校	31年度末	32年12月末
鮫浜小学校	33年夏頃	34年夏頃

改築工事期間中は、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ 庶務課教育施設調整担当（☎5742-6833 Fax5742-6890）

## 学校改築

### 新校舎に建て替え

## 教員の働き方改革

### ご存じですか。教員の勤務時間

品川区立の小・中・義務教育学校の教員の勤務時間は、休憩時間を含めおおよそ午前8時15分から午後4時45分に定められています。開始時間や終了時間は学校によって異なりますが、どの学校も所定の勤務時間は1日7時間45分です。

実際には授業準備や生活指導のために夜遅くまで学校に残っている教員も数多く、教員の長時間勤務は今や社会問題となっています。

品川区教育委員会では、教員の負担を軽減し、児童・生徒に余裕をもって向き合えるよう「働き方改革」を推進します。

今後は、**定時一斉退勤日**や**部活動休養日**を設けるなど、精力的に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ 指導課教職員人事係（☎5742-6831 Fax5742-6892）